

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	近代建築史	
科目基礎情報							
科目番号		55101		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		建築学科		対象学年		5	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		「テキスト建築の２０世紀」本田昌昭・末包伸吾（学芸出版社）ISBN978-4-7615-3182-9／授業時に配布するプリント					
担当教員		三島 雅博					
到達目標							
(ア)近代建築誕生以前の状況や近代建築を取り巻く状況から、近代建築が生まれなければならなかった必然性を理解する。 (イ)近代建築が形成されてきた過程を理解する。 (ウ)各建築運動の中心人物・指導者及び代表的建築家や代表的作品を挙げることができる。 (エ)各建築運動の造形的特徴を挙げることができ、その目的・意義を説明できる。 (オ)近代建築の限界を理解し、新たな建築創造の出発点を認識できる。							
ルーブリック							
	最低限の到達レベルの目安(優)		最低限の到達レベルの目安(良)		最低限の到達レベルの目安(不可)		
評価項目(ア)	近代建築誕生以前の状況や近代建築を取り巻く状況から、近代建築が生まれなければならなかった必然性を説明できる。		近代建築誕生以前の状況や近代建築を取り巻く状況から、近代建築が生まれなければならなかった必然性をおおよそ説明できる。		近代建築誕生以前の状況や近代建築を取り巻く状況から、近代建築が生まれなければならなかった必然性が理解できていない。		
評価項目(イ)	近代建築が形成されてきた過程を説明できる。		近代建築が形成されてきた過程をおおよそ説明できる。		近代建築が形成されてきた過程が理解できていない。		
評価項目(ウ)	各建築運動の中心人物・指導者及び代表的建築家や代表的作品を説明できる。		各建築運動の中心人物・指導者及び代表的建築家や代表的作品を結びつけることができる。		各建築運動の中心人物・指導者及び代表的建築家や代表的作品を挙げることができない。		
評価項目(エ)	各建築運動の造形的特徴を挙げることができ、その目的・意義を説明できる。		各建築運動の造形的特徴をおおよそ挙げることができ、その目的・意義をおおよそ説明できる。		各建築運動の造形的特徴を挙げることができず、その目的・意義を説明できない。		
評価項目(オ)	近代建築の限界を理解し、新たな建築創造の出発点を認識できる。		近代建築の限界を凡そ理解し、新たな建築創造の出発点をおおよそ認識できる。		近代建築の限界を理解できていないし、新たな建築創造の出発点を認識していない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B2 建築分野の必要な基礎的知識や技術を修得する。 学習・教育到達度目標 E1 日本や世界の文化や歴史を、地球的な視点から多面的に認識し、建築技術が社会に与える影響を理解する能力を修得する。 JABEE d 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力 本校教育目標 ② 基礎学力 本校教育目標 ⑤ 技術者倫理							
教育方法等							
概要	主に西洋での近代建築発展の歴史を扱う。現在見ることができる近代建築がどのようにして生まれてきたかについて学ぶものである。具体的には、近代建築が生まれてきた背景や動機を述べた後に、様々な近代建築運動・近代デザイン運動が目指したものの、獲得しようとしたものが何であったかを明らかにしておく。						
授業の進め方・方法	授業内の区切り時期に課題レポートを課す。						
注意点							
選択必修の種別・旧カリ科目名							
選択必修2							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	新古典主義と歴史主義：考古学の発展とギリシャの発見 課題レポート（代表的作品と図）を課す。		「授業内容」を理解し説明できる。		
		2週	新古典主義と歴史主義：歴史主義と折衷主義 課題レポート（代表的作品と図）を課す。		「授業内容」を理解し説明できる。		
		3週	近代建築誕生の前夜：19世紀建築の特徴 新しい工業技術 授業の該当する項目について、教科書を予習しておくこと。		「授業内容」を理解し説明できる。		
		4週	アーツ・アンド・クラフト運動 授業の該当する項目について、教科書を予習しておくこと。		「授業内容」を理解し説明できる。		
		5週	アール・ヌーヴォー 課題レポート（代表的作品と図）を課す。		「授業内容」を理解し説明できる。		
		6週	ウィーン・セツェッション 課題レポート（代表的作品と図）を課す。		「授業内容」を理解し説明できる。		
		7週	シカゴの近代建築：シカゴ派とプレーリーハウス 課題レポート（代表的作品と図）を課す。		「授業内容」を理解し説明できる。		
		8週	近代建築運動：イタリア未来主義 ロシア構成主義 課題レポート（代表的作品と図）を課す。		「授業内容」を理解し説明できる。		
	2ndQ	9週	近代建築運動：表現主義 デ・ステイル 課題レポート（代表的作品と図）を課す。		「授業内容」を理解し説明できる。		

		10週	初期近代主義建築：ドイツ工作連盟 バウハウス 課題レポート（代表的作品と図）を課す。	「授業内容」を理解し説明できる。
		11週	初期近代主義建築：エスプリ・ヌーヴォー ガラスの摩天楼 課題レポート（代表的作品と図）を課す。	「授業内容」を理解し説明できる。
		12週	近代主義建築の深化：地域主義 巨匠の戦後 課題レポート（代表的作品と図）を課す。	「授業内容」を理解し説明できる。
		13週	近代主義建築の深化：近代建築の第2世代 課題レポート（代表的作品と図）を課す。	「授業内容」を理解し説明できる。
		14週	ポスト・モダニズム：近代主義の限界 装飾とシンボル 課題レポート（代表的作品と図）を課す。	「授業内容」を理解し説明できる。
		15週	総まとめ	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	日本および海外における近現代の建築様式の特徴について説明できる。	4	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14

評価割合			
	定期試験	レポート	合計
総合評価割合	60	40	100
専門的能力	60	40	100